

ワクワクピア隊（広島修道大学）

◎チーム紹介

「ワクワクピア隊」は、広島修道大学人文学部の3名からなるチームです。

活動内容は、手品を子どもたちの前でやってみて、そのうちのいくつかをタネ明かしします。そして、子どもたちと手品の小道具を一緒に作ります。子どもたちが自分で手品を身近な人に発表できるようにしたいと思っています。

◎活動の様子

活動教室：ウイング子ども教室（北広島町）

日 時：平成24年8月2日（木）9：00～12：00

場 所：都谷保育所

参加人数：2名（大学生ボランティア）、35名（子ども）



初めに手品を学生がして見せてくれました。「次は、どうなると思う」など、学生は子どもと言葉のキャッチボールをしながら、楽しく手品をしました。トランプを使った手品の後、実際に手品で使うトランプのカードを作りました。学生から仕掛けを教えてもらった子どもたちは、家の人に見せてあげると言いながら、一生懸命練習をしました。



次に、バルーンアートでイヌやウサギを作りました。初めは風船が割れたら怖いと話していた子どもたちですが、だんだんと怖くなくなり、風船をくるくるとねじって、動物を作りました。

学生が事前に風船を膨らましてくれていたこともあり、活動がスムーズにいきました。子どもたちは「家の人に見せてあげる」とうれしそうにしていました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちが「（手品やバルーンアートを）家の人に見せてあげる」と嬉しそうに言ってくれたので、自分たちもうれしかった。
- ・ 子どもへの接し方を大いに学ぶことができたので、今後の活動にいかしていきたいです。
- ・ 子どもたちが、思ったより物おじしていなかったなので、活動しやすかった。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 幼児・児童・保育士など、全員で楽しむことができた活動でした。
- ・ 子どもたちは、大学生の年代の方とふれあう機会があまりないので、来てもらってとてもありがたいです。
- ・ 学生は、場慣れしていて、ずっと子どもたちの中に入っていました。子どもがすぐ打ち解けていました。活動の説明も分かりやすかったです。
- ・ 作品を家に持って帰り、家の人に何をしたかが分かるのでよいと思いました。

ワクワクピア隊 (広島修道大学)

平成
23年度

◎チーム紹介

「ワクワクピア隊」は、広島修道大学人文学部の3名からなるチームです。

活動内容は、手品を子どもたちの前でやってみて、そのうちのいくつかをタネ明かしします。そして、子どもたちと手品の小道具を一緒に作ります。子どもたちが自分で手品を身近な人に発表できるようにしたいと思っています。

◎活動の様子

活動教室：大崎上島町わくわくスクール大崎・東野・木江教室（3教室合同）

日時：平成23年7月9日（土） 14:00～15:30

場所：東野文化センター

参加人数：2名（大学生ボランティア）、21名（子ども）



初めに、たくさんの手品を大学生が実演しました。手を使った手品、色が違うハンカチが飛び出す手品、絵や文字が次々に変わる手品などなど、子どもたちは興味津々の様子でした。



トランプの手品を見た後に、実際に手品で使うトランプを子どもたちと作りました。大学生は、子どもたち一人一人に丁寧に作り方を教えていました。トランプが出来上がると、子どもたちに手品の仕方を、もう一度教えて、手品の練習をしました。

○学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもたちが、手品や工作を楽しんでくれてよかったです。活動をやり終えた達成感があり、うれしいです。

今日の活動を行って、他の活動についても、是非、子どもたちと一緒にやってみたいと思います。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

大学生が教室に入ってきた時の子どもたちの目の輝きが違いました。子どもたちは、とても楽しんでいました。

また、終始、学生さんが上手に子どもたちの対応しながら進めていたのが、素晴らしいなと感じました。